



余命88日の僕が、 同じ日に死ぬ君と出会った話



表紙・胎村

288頁(予定)
予価:本体700円(税別)
ISBN978-4-591-17584-2
8111-346

「よめぼく」シリーズ第3弾!
驚愕のラストに涙!!

高二の崎本光は、クラスの集合写真を興味本位で「死神」に送り、自分と人気者の浅海莉奈の余命が88日だと知る。友人もおらず、ある悩みから既に人生に見切りをつけている光は落ち込むこともなかったが、なぜ自分と対照的な存在の彼女と同じ日に死ぬ運命なのかが気になった。やがて一緒に水族館へ実習に行き、浅海が深刻な病を抱えていると知って――。

森田碧の本



『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』 『余命99日の僕が、死の見える君と出会った話』



著者プロフィール **森田碧**
北海道出身。2020年、LINEノベルのコンテストで「死神の制度」が大賞を受賞。2021年、『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』(ポプラ社)でデビュー。



呪われ少将の交遊録



表紙・おおく

320頁(予定)
予価:本体760円(税別)
ISBN978-4-591-17589-7
8101-459

第11回ポプラ社
小説新人賞・奨励賞受賞作!!

ときは平安。清川尚成の見合い相手である鶴姫が、人ではない何かに殺害された。心を病んだ尚成を見かねて叔母が呼び寄せたのは、凄腕の呪術師・福治。都の伝説ともいえる福治は尚成を引き連れて謎の解明に乗り出す――
クールな凄腕呪術師と、お人よしの少将が繰り広げる、平安あやかし物語!

オススメ併売



『ばけもの好む中將 平安不思議めぐり』(集英社文庫)



著者プロフィール **相田美紅**
『呪われ少将の交遊録』で第11回ポプラ社小説新人賞・奨励賞を受賞し、デビュー



ふたり、この夜と息をして



写真・神木隆之介

288頁(予定)
予価:本体720円(税別)
ISBN978-4-591-17590-3
8101-460

感涙必至の青春小説、
待望の文庫化!

男子高校生の夕作まことは、顔にある痣を化粧で隠して生活している。それがばれることを恐れ、誰にもかかわらずに過ごすことを望んでいた。ある日、アルバイトの帰りに、公園でクラスメイトの女子・榎野がタバコを吸っているところを目撃する。不良でもない榎野が何故……? 互いに“秘密”を抱えた二人は徐々に距離を近づけていくが――。

オススメ併売



『かくしごと』(新潮文庫)



著者プロフィール **北原一**
1995年、東京生まれ。武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒。グラフィックデザイナー。本作にて第9回ポプラ社小説新人賞特別賞を受賞し、デビュー。



みつばの郵便屋さん そして明日も地球はまわる



表紙・DOU-HASHI

304頁(予定)
予価:本体720円(税別)
ISBN978-4-591-17582-8
8101-458

話題作『ひと』の著者が描く
人気シリーズの最終巻!

郵便配達員・平本秋宏は今日もみつばの町で小さな物語を拾いあげる。手紙の届け先に別人が住んでいたことからわかる親子の心、道に落ちていた帽子からたどる忘れ得ぬ思い出、局に見学に来た中学生から教えてもらった歳月の意味。託された手紙を届けるため、町を走り続けてきた秋宏の胸に今、みつばの街が愛しく息づく。心優しきポストマンの物語、ついに完結。

好評既刊



『みつばの郵便屋さん』



著者プロフィール **小野寺史宜**
千葉県生まれ。「みつばの郵便屋さん」シリーズ(全8巻)他、「ライフ」、「ひと」(2019年本屋大賞2位)等がある。